

リハビリ技術者交流集会

2017年6月29日にリハビリ技術者交流集会を初めて企画しました。協立エリアでは医療分野や介護分野に従事するセラピストが73名と多く、なかなか一堂に会する機会が少ない状況です。そこで演題発表を中心に昨年度の活動を振り返り、お互いの取り組みを知るといった目的で交流会を開催しました。

《演題》

「早期退院を目指す回復期大腿骨頸部骨折クリニカルパスの改訂」

第17回日本クリニカルパス学会学術集会：金沢市

「回復期病棟における転倒・転落事例の傾向分析と対策」

第26回神経リハビリテーション研究会：東京都

「当院回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーション栄養スクリーニング」

第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会：岡山市

「バルーン大動脈弁形成術を施行した重症大動脈弁狭窄症患者に対する心臓リハビリテーションの経験」

日本心臓リハビリテーション学会第1回東北支部地方会：仙台市

《介護事業所紹介》

《参加者からの感想》

- ・普段の業務ではなかなか触れられない介護分野の活動が聞けて、入院からデイ、訪問の流れが見えて良かった。
- ・普段あまり関わる機会がないスタッフとの交流が出来た。各々で頑張っている発表(研究)内容を知ることができ、個人的な意欲の向上につながった。
- ・退院後の生活にもより着目した介入が重要になると改めて感じた。

以上のような感想がたくさんありました。担当以外の分野の実際の様子を知ることができ、また多くのセラピストと交流を持つこともできました。今回はチーム医療を高める良い機会となりました。

